

p_{La}T_EX によるレジュメの作成

ソーシャルソフトウェア工学研究室研究室

60236000

伊原 彰紀

概要：この文章は、和歌山大学システム工学部システム工学科社会情報学メジャーの卒業研究発表会において配布されるレジュメを p_{La}T_EX を用いて作成するための方法を記述したものである。この文章もまた、統一されたレジュメの体裁に沿って作成されており、レジュメ作成の際の参考にされたい。

キーワード：レジュメ, 和歌山大学システム工学部, 卒業論文

1 レジュメ

レジュメは、A4 用紙 2 枚を上限とし、卒業論文提出時に同時に提出することになっている¹。レジュメに記述しなければならないのは、本文に加えて次の各項目である。

- タイトル
- 所属研究室
- 学生番号
- 氏名
- 概要
- キーワード (5 語程度)
- 参考文献

本フォーマットでは、2 ページという限られた領域を有効に利用するために、2 段組のレイアウトを採用している。

本レジュメフォーマットは、

- wuse_resume.sty
- resume_sample.tex

の 2 つのファイルから構成される。wuse_resume.sty ファイルは、T_EX を用いてレジュメを作成する際に、統一的なスタイルを与える L^AT_EX のスタイルファイルである。resume_sample.tex ファイルは、このスタイルファイルを利用してレイアウトした文書の例である。

以下では、本スタイルファイルを利用するための方法、および 2 段組のレイアウトを効果的に使うための手法を解説する。なお、本スタイルファイルの姉妹版として、卒業論文用スタイルファイル [?] も用意しているので参考にされたい。T_EX や L^AT_EX についての情報は、書籍 [?, ?, ?] や T_EX Wiki²が詳しい。

2 タイトル、氏名、概要など

タイトルや氏名などは、それぞれ “\タイトル” や “\氏名” コマンドを利用して指定する。この他に、所属研

```
\begin{figure}
\centering
図 (\includegraphics{hoge.eps}など)
\caption{figure 環境}\label{figenv}
\end{figure}
```

図 1: 図の例

究室 (\研究室), 学生番号 (\学生番号), 概要 (\概要), キーワード (\キーワード) を指定するためのコマンドが用意されている。これらの情報は、\maketitle によって 1 ページ目上部中央に出力される。

3 図、表

論文/レジュメでは、図、表などを効果的に使用する。

3.1 図

figure 環境を利用することによって図にキャプション (\caption) を付けることができる。図には通し番号が付けられ、キャプションに \label を設定しておく、“図??” のように \ref によって図を番号で参照することができる。図??に figure 環境を用いた記述例を示す。なお、図のキャプションは、図の下部に付けるのが一般的である。

includegraphics を用いて PDF 形式/PNG 形式/JPEG 形式/EPS 形式等の図を文章の中に取り込むことができる。この場合には、\begin{document}の前に \usepackage[dvipdfmx]{graphicx} を追加する。

3.2 表

table 環境を利用することによって図と同じように、キャプションをつけたり、ラベルにより参照したりすることができる。なお、表のキャプションは、表の上部に付けるのが一般的である。

3.3 横長の図・表

2 段組の文書を作成していて、1 段でレイアウトしたい横長の図や表を入れるためには、figure* や table* 環境を利用する。表??に横長の表の例を示す。

¹平成 15 年度より、レジュメのスタイルは学科である程度統一されることになった。

²<https://texwiki.texjp.org/>

表 1: 横長の表

| 条件 | その 1 | その 2 | その 3 | その 4 |
|------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 条件 1 | 3.14159265358979 | 3.14159265358979 | 3.14159265358979 | 3.14159265358979 |
| 条件 2 | 3.14159265358979 | 3.14159265358979 | 3.14159265358979 | 3.14159265358979 |
| 条件 3 | 3.14159265358979 | 3.14159265358979 | 3.14159265358979 | 3.14159265358979 |

4 参考文献

レジメには、参考文献も含める。ここでは、一般的な thebibliography 環境を利用している。

5 質問等

このレジメ体裁 (pL^AT_EX 版) に関する質問は、メールにて、fukuyasu@wakayama-u.ac.jp まで。

6 おためし

6.1 簡条書

- 普通の簡条書 1
- 普通の簡条書 2
- 普通の簡条書 3
- 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト
- 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト

6.2 番号付き簡条書

1. 普通の簡条書 1
2. 普通の簡条書 2
3. 普通の簡条書 3
4. 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト
5. 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト

hoge 普通の簡条書 1

foo 普通の簡条書 2

var 普通の簡条書 3

長い簡条書のタイトル 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト

長い簡条書のタイトル 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト, 長い簡条書のテスト

6.2.1 subsubsection のタイトル

パラグラフ

サブパラグラフ 文章の構造は, section, subsection, subsubsection, paragraph, subparagraph である。

参考文献

- [1] 福安直樹, 卒業論文スタイルファイル (和歌山大学システム工学部用), https://github.com/fukuyasu/wuse_thesis.
- [2] Knuth, D., Remarks to Celebrate the Publication of Computers & Typesetting, TUGboat, Vol.7, No.2, pp.95–98, 1986.
- [3] Lamport, L., 文書処理システム L^AT_EX 2_ε, ピアソン・エデュケーション, 1999, 阿瀬はる美 訳.
- [4] 奥村晴彦, L^AT_EX 入門 —美文書作成のポイント—, 技術評論社, 1993.
- [5] 奥村晴彦, 黒木裕介, [改定第 6 版] L^AT_EX 2_ε 美文書作成入門, 技術評論社, 2013.
- [6] Goossens, M., Mittelbach, F. and Samarin, A., The L^AT_EX コンパニオン, アスキー出版局, 1998, アスキー書籍編集部 監訳.
- [7] L^AT_EX 入門 — T_EX Wiki, <https://texwiki.texjp.org/?LaTeX%E5%85%A5%E9%96%80>, 2021 年 12 月 3 日閲覧.